

講義名	憲法(2年生以上)			授業形態	
担当教員	則武 立樹	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

「日本国憲法」と聞くと、何か難解で理解しづらい「法」のように思えるかもしれない。しかし、日本という国家の構造上、法の中でも一番強い力を持つものが日本国憲法なのである。では、憲法が私たちにくれていること。逆に私たちの行動を制限していることって何なのか？憲法はどういう形でこの社会に溶け込んでいるのか？こうした今まで考えてこなかったであろう「憲法」に真正面から向き合い、次世代を担う皆さんが「憲法」を理解できるよう、様々な生活の中でのエピソードを交えつつ授業を展開します。

**到達目標**

1. 日本国憲法の規定が私たちの暮らしとどのように関係しているのかを説明できる。
2. 日本国憲法の「人権」規定が保障する内容とその限界を説明できる。
3. 「人権」を保障するための制度としての統治機構のあり方を説明できる。

**提出課題**

授業時に複数回コメントカードの提出を求める。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

次回授業内にて講評を行う。

**評価の基準**

- ・平常点（授業中の問答、コメントカードの提出状況およびその内容）（30％）
  - ・到達度の確認（授業内試験）（70％）
- 上記の評価項目を総合的に判断して最終的な成績を算出する。

**履修にあたっての注意・助言他**

- ・本科目では、受講生が法学初学者であることを念頭に、抽象的で難解だと思われる「法」の話を出来る限り詳しく解説し、また、私たちの暮らしのなかで實際に生じている具体的問題を取り上げることで、受講生の皆さんに「日本国憲法」というものをより身近に感じながら学んでもらう予定である。わからない部分がある場合にはその場またはその場を過ぎず、積極的に講師に質問してほしい。
- ・授業中の私語、スマートフォン及びパソコンなどの電子機器の操作等、授業と関係のない行動は認められない。悪質である場合には退室を命じるほか、減点の可能性もあるので注意すること。

**教科書**

.使用しない.

**参考図書**

.なし.

その他
-----

**授業計画**

- 第1回 ガイダンス なぜ私たちは憲法を学ぶ(必要がある)のか？  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：基本的人権、2：国家権力、3：主権者（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第2回 人権総論 憲法が保障する「人権」とは何か？  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：外国人の人権、2：国民の定義、3：国籍の取得（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第3回 法の下での平等 ことも、女性、LGBT+を巡る差別に対して憲法はどう挑むことができるのか？  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：形式的平等/結果の平等、3：尊厳殺人（親子関係に基づく差別）、4：非嫡出子（子どもに対する差別）、5：同性婚（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第4回 精神的自由権 思想・良心の自由、宗教の自由（「心」の自由を保障する）、表現の自由（「行動」の自由を保障する）  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：思想・良心の自由、2：宗教の自由、3：政教分離、4：目的効果基準、5：表現内容/表現内容中立規制（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第5回 経済的自由権 職業選択の自由、営業の自由（「経済活動」の自由を保障する）、社会権（生存権）  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：職業選択の自由、2：二重の基準論、3：規制目的二分論、4：生存権（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第6回 現代の憲法問題 居住移転の自由（部落差別を素材に）  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：部落、2：居住移転の自由（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第7回 現代の憲法問題 死刑存続問題（日欧の差異）  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：死刑制度、2：罪刑法定主義（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第8回 現代の憲法問題 死刑存続問題（死刑制度の合憲性）  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：憲法31条、2：憲法36条、3：仮釈放（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第9回 統治機構総論 いかにして国家権力を抑制するの？  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：権力分立、2：法の支配（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第10回 国会 「立法」という国家権力を考える  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：立法、2：国政調査権（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第11回 内閣 「行政」という国家権力を考える  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：行政、2：衆議院の解散権（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第12回 裁判所 「司法」という国家権力を考える  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：司法、2：違憲立法審査権（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第13回 地方自治 地方の政治はここに住む私たちが決めるべき  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：地方自治の本旨、2：条例（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第14回 憲法改正 私たちの未来を決定する「憲法」はどうあるべきか？  
 予習内容：以下のキーワードの意味を調べること。 1：最高法規性、2：硬性憲法、3：憲法改正（120分）。  
 復習内容：授業後に講義内容を自分の言葉で再整理すること（120分）。
- 第15回 到達度の確認とまとめ（授業内試験）

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本科目は、「法政科学大学学位」に基づき、在籍所属学部学科に所定の期間在学し所定の単位を取得したことをもって、本学および所属学部学科の学生として卒業時に身につけておくべき資質・能力を身につけたものとみなし、「学士（所属学部学科にならう）」の学位を授与します。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

コメントカードの活用により、一方的な講義形式ではなく、学生自身主体的に考えられるよう、双方向でのやり取りを行う。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

--